

第6回カニクン分科会 1日目(2012年1月19日)

午前の部

1. 自己紹介 9:15~9:40

資料1『平成23年度1月 第6回 KANIKUN 分科会』p.5参照

☆名前・任地・赴任先

☆参加メンバー追加 ~ 23-3 1名

【俳句を一首】~ラオスの教育 自分の活動

- ・ ラオスの子 めっちゃかわいい でもキドゥー (むこうはら)
- ・ カニクン熱が出た出た しっしんが (くどう)
- ・ 計画は 計画倒れが 当たり前 (もみやま)
- ・ その手と手 日本とラオスを 結びたい (ごうだ)
- ・ なぜだろう 朝はお腹が 痛くなる (やじま)
- ・ わかったと ぱっと輝く 笑顔あり (はらだ)
- ・ ポーペンにゃん いつでもどこでも ポーペンにゃん (たかはしゆ)
- ・ カンクンで 食べたかったな えび料理 (みはら)
- ・ あらいいな あんたらーいな あらいさん (あらい)
- ・ ポーペンにゃん カンニングだけは ゆるしません (まつい)
- ・ にわとりの こえでおきる サラワン県 (いわた)
- ・ やばくても にこっとわらい ポーペンにゃん (はやせ)
- ・ 教室に あかちゃんがいる あらかわいい (のぎ)
- ・ 授業中 働いてるの?休みなの? (おがわ)
- ・ はじめての らおすの 学校大変だ (たかはしり)
- ・ とりあえず みんな元気で 日本に帰る (ぼう)

2. 日程説明 9:40~9:45

資料1『平成23年度1月 第6回 KANIKUN 分科会』p.1参照

3. 分科会概要説明 9:45~11:00

資料1『平成23年度1月 第6回 KANIKUN 分科会』p.2~3参照

☆正式名称をどうするか?

正式名称: 算数・数学科教育研究会

通称 : KANIKUN (ຄະນິດສາດດີຂັ້ນ)

小中学校、教員養成短大派遣の海外協力隊によるラオスの算数・数学科教育水準の向上およびラオスの理数科教育への貢献を目的とした組織

4. 各担当から 11:05~11:30

(1) KANIKUN ホームページについて (あらい)

→午後の活動報告の発表で

(2) ラオス語辞書 (いわた)

資料2『ラオス語辞書算数教育編 例』参照

☆持ち運べるようにしたい 「指差し」、「てっちゃんねっと」のように、すぐとりだせるもの

①量 語彙力を増やしたい →今後どのように増やしていくか?

②文章 文章化する →3月末くらいまでに辞書の原案

③絵 絵があると子どもたちに教えやすい →絵入り辞書は必要か?

☆3月末、原案を配布、使用し、6月、意見集約、訂正、改善を図っていく。

午後の部

5. 活動報告① 13:05~14:45

(1) 23-1 あらい

☆「カニクンブログ」「ホームルーム・ラーオ」「マスマティックス・ラーオ」について

資料3『保存版「カニクンブログ」「ホームルーム・ラーオ」「マスマティックス・ラーオ」使用手引』参照

①カニクンブログ

・指導案及び教材紹介の形式統一、ラオ語も日本語も可

②ホームルーム・ラーオ

・隊員の協力により、今後も語彙・内容を増やしてバージョンアップして引き継いでいく。

③マスマティックス・ラーオ

・フォントは、Saysetta OT が一般的ではあるが、Saysetta unicode を使用したほうが印刷しやすい(文字化けの減少)

・継続使用、合併、削除等、今後の取扱いについては、カニクン辞書委員に委ねる。

☆その他

・5年生の算数教科書日本語訳・・・ブログに掲載済み

・指導案(『立方体展開図トランスフォーマー』)・・・ブログに掲載済み

(2) 22-1 はらだ

☆活動紹介

・配属先について

・学校での活動

・問題点 基礎計算力が無い 自分で考える時間がない(考えようとしない)

・フラッシュカード 2人1組

・問題演習 1~2時間を使用して 基礎計算、授業の復習

<狙い> 自分で考えること/基礎計算力・基礎知識の向上

<生徒の変化>考えない/やらない→自分から考えよう/質問の増加

<CPの変化>CPが自分で考える時間を確保させる

<課題> まだ考えない/基礎力/授業が遅れる

→ 言葉かけの工夫/復習・繰り返し実施・ヒント

・授業研究

今年度9月より月に1度(学校主導で教科ごと行う)

事後研究 先生方が積極的に意見を言い合う/つたないラオ語も先生方が説明してくれる

・2年目の変化

<生徒>積極的な姿勢/自分で考える姿勢/基礎力/教え合い

<CP>自分で考える時間の確保/復習

・今までの活動で 焦る時ほどゆっくり/やってみる/欲張らない

・残りの任期で 自分で考える生徒に/わかったという経験/達成感・喜び/基礎力

(3) 23-1 いわた

☆教師として大切にしている言葉

・聞いたことは 忘れる

・見たこと書いたことは 覚える

・やったことは わかる

・発見したことは できる

☆赴任先の小学校の現状

・現状把握～授業観察・診断テスト

先生方は生徒が授業を理解していると思っている

☆活動指針と仮説

1) 方針 ～継続したスモールステップ指導

【児童】やったことはわかる/☆教師：見たことは覚える

2) 仮説

【児童】系統的な繰り返し学習を行うことで児童の基礎計算力は向上するだろう

【教師】繰り返し学習の必要性和各児童の学習理解度を把握することで学習指導力は向上するだろう

3) 実践 ～ 授業指導参加

・最初の15分を特別学習として確保(T1)

・T2授業を見たときは、授業感想を先生に渡す

実践例①100ます計算

【児童】基礎計算力の向上

→点数の伸び/自主学習

【教師】繰り返し学習の必要性を実感させる

→平均点に関心を持つ

※1) 学力の差が日本よりも激しい →できない児童を抽出し、支援

抽出児童 A なににつまずいているか→表の見方がわからない

B マス目を意識できない

C 指や補助カードを使った指導…結果には結びつかず

※2) 担任に学力低位児童に関心を持ってもらうために →意識改善

- ・得点の低い児童を伝える
- ・計算力の低い児童へ宿題

実践例②フラッシュカード

- ・表に計算式、裏に答え
- ・先生が来るまで児童にやらせる

実践例③計算練習

【児童】基礎計算力の向上 →教え合い

【教師】すべての児童の学習到達度の把握方法の伝授

- 一人ひとりのノートを見て答え合わせ、学習状況の把握
- 苦手なポイントを担任が指導。

実践例④ミニ授業

【児童】授業ルール作り

→「わからない」という／答えをすぐ言わず挙手／説明する

【教師】「やったことはわかる」授業づくり

☆成果と課題

- ①探求力の向上
- ②学力低位児童の指導方法
- ③教師の授業改革意識の浸透
- ④ラオス語の上達

☆今後の取り組み

- ①計算ドリルの作成
- ②学習指導法の紹介 T1 授業の増加

※補足

☆説明の仕方について

- ・うまい子をほめる
- ・どうやってやったの？先生に説明して。よくできたね。みんなに説明して。
→聞いた子も聞くだけ。
- ・「わからない」ということの大切さ。
- ・データを見せる
- ・カンニングをするより、自分で解いたほうが早いと気付いた

6. 教材報告① 14:50~16:20

(1) みはら

☆変わりコマ 資料4『変わりコマをつくろう』参照

- ① 紙を好きな形に切る
- ② 紙のはしに、糸をつけて、垂らす
- ③ 糸の延長線上に線を引く（糸に重りをつけるとやりやすい）
- ④ ③をちがう位置でもう一度行う
- ⑤ 線が交差した点に穴をあける（穴を円に切った紙で補強してからやると良い）
- ⑥ 竹串をさし、ボンドで止める（竹串が長い場合は折って短くする）
- ⑦ 完成！回して遊びましょう♪



(2) 23-1 たかはしゆ

☆アイス・ブレーク

- 1) 手を挙げて！下げて！
- 2) 頭・お腹・膝（触って！）

※やるときのコツ

「はい！あたま」「はい！おなか」「はい！ひざ」という声かけ。

たくさんほめる！「早い！」「すごい！」

何回も練習してから、やる。

単語を省略「はい！あ」「はい！お」「はい！ひ」

最後は頭でひっかけ。笑って終わる。

3) 指キャッチ

<練習>

- ① 右手は人さし指と左手はすぼめて筒をつくる
- ② 右手を隣の人左手の中に入れる
- ③ 「はい！」の声で、隣の人の人差し指をにぎる（何度か練習）
- ④ 次に「はい！」の声で、自分の人差し指をぬく（何度か練習）
- ⑤ 最後に「はい！」の声で、隣の人の人差し指をにぎり、自分の人差し指をぬく

<本番>

- ① 右手は人さし指と左手はすぼめて筒をつくる
 - ② 右手を隣の人左手の中に入れる
 - ③ 「はい！」の声で、隣の人の人差し指をにぎり、自分の人差し指をぬく
- ※キーワードを決めて、物語などでやるのも楽しい。



☆全円分度器 ～ 角度の大きさを視覚的に理解するための教材

資料5『全円分度器』参照

<材 料>

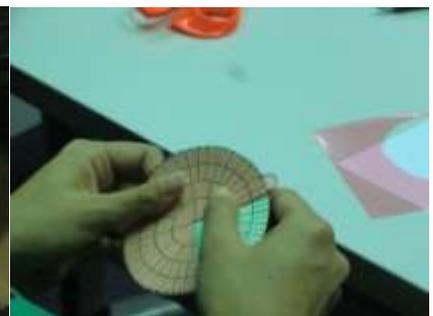
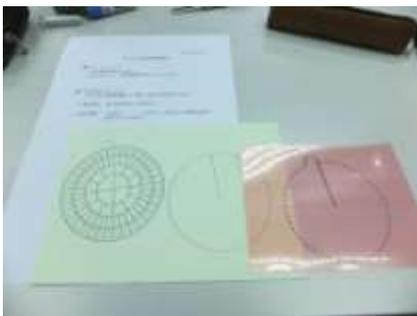
クリアファイル、色つきの紙（印刷済み）

<作り方>

- ①持ち手を残して紙とクリアファイルを切る
- ②持ち手の右側の点線は中心に向かって切る
- ③切ったところを組み合わせる

<活 用>

- ①授業の中で
- ②角度ゲーム「真ん中が勝ち」
 - A) 先生より大きい人が勝ち！
 - B) 先生より小さい人が勝ち！
 - C) 3人組で真ん中の人勝ち！



第6回カニクン分科会 2日目 (2012年1月20日)

午前の部

1. 教材紹介② 9:05~10:35

(1) 22-3 ぼう

☆正四面体の作り方 [資料6「正四面体」参照](#)

＜材料＞ ストロー 6本, ハサミ

【教材使用例】

① 辺の数はいくつ?

1面に辺が3本, それが4枚あるから $3 \times 4 = 12$

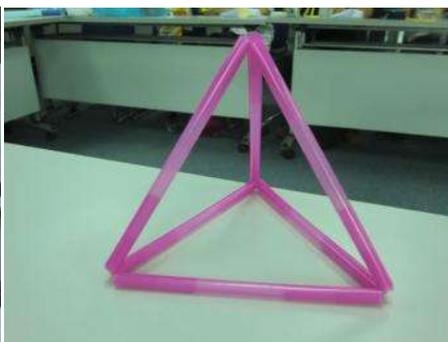
でも2面接しているので, $12 \div 2 = 6$ 正四面体の辺の数は6本

② 頂点の数はいくつ?

正四面体の1つの頂点には3面が集まっているので、

3個の三角形の頂点が集まって正四面体の1個の頂点になるから $12 \div 3 = 4$

正四面体の頂点の数は4個



(2) 23-1 くどう

☆活動概要

☆教材紹介

①位取り表

＜材料＞模造紙, 透明テープ

＜効果＞量と数を結びつけられる。足し算に有効

＜課題＞10のまとまりと数については、まだ思案段階。

②教材掲示板

＜材料＞ A4 透明シート, 色画用紙

＜効果＞ 視覚教材が提示できる

＜課題＞ 強度

③ブロック

＜材料＞紙, テープ

＜効果＞1年生の引き算において有効

＜課題＞10と100のまとまりも作ったが、なかなか使う機会が無い

④計算の仕方

<材料>模造紙, ペン

<効果>子どもが計算につまずいた時に、どこでつまずいたかわかる

<課題>クラスによって、説明の仕方が異なる ⇒学年で統一していく



⑤方眼紙

<材料>色模造紙, ホワイトボードマーカー

<効果>用途がひろく、いろいろな場面につかえる。先生の説明は

<効果>毎回貼らなくてはいけない。子どもの板書が難しい。

⇒「青はノートと同じだから、書かなくていいよ。」

という声かけで改善できるのでは？



⑥分数

<材料>紙, A4透明シート

<効果>視覚的にわかりやすい。

<課題>分母の数までしか使えない

☆失敗編

ペットボトルキャップのそろばん ⇒はりがね、ストローで作るといい！

☆教材の説明や紹介

授業したクラスの先生とは話せるが、他の先生に紹介する場が少ない ⇒掲示

2. 活動報告② 10:45~11:30

(1) 23-1 まつい

☆要請内容と活動の大筋

①教員の授業の質の向上

②子どもたちの学力向上

- ・教材用具の作成 ~村で手に入るもの/教員と一緒に作成
- ・指導案の作成 ~CPが指導案通りに実施
⇒形をつくるより、おさえるポイントをCPと確認/交換日記
- ・教室環境、学習環境の整備 ~掲示物・展示物の整理/清掃(黒<赤<白)/教材の補充
※学年会議・全体会議で常に話し合いの場を持つ⇒記録
- ・現地の教員に対して ~研修会/ワークショップ これから
- ・基礎計算力をつける ~九九暗記/カード争奪戦/そろばん

☆心がけていること ~全員の名前を覚える/けじめ

☆シェンクワンの現状 ~クラスター爆弾の被害

(2) 22-1 むこうはら

☆これまでの活動 ~ 授業視察, ラオ語の勉強, T2, 図書館

☆日常の活動 ~ 週1で授業, 教材作り, 算数の授業のむずかしさ

☆『Lesson Study』 資料「Lesson Study」参照

ウドムサイ/サイニャブリ/ルアンパバン TTC/シエンクワン/ルアンナムター (予定)

- | |
|---|
| <p>①JVの授業、坊さんの講義、TTCの先生の講義 ~授業研究とは何か？</p> <p>②現地の先生たちが授業の指導案を考えて作る 全部終わったら冊子に</p> <p>③授業実践 ~ ばねののび/数直線</p> <p>④フィードバック ~自分たちの反省/JV・SV・TTC 教師からの所感</p> |
|---|

☆これからの活動

午後の部

3. KANIKUN 組織づくり 15:50~17:10

資料1『平成23年度1月 第6回 KANIKUN 分科会』p.4 参照

(1) ラオス語辞書

①絵入り辞書は必要か？

<意見>

- ・指差し風がいい
- ・図形をいれてほしい
- ・書き込むスペースがほしい (自分の語彙を増やすために最後の部分に)

⇒【辞書委員より】簡単な絵は入れる、絵は技術的に難しい

②辞書の改定の進め方 →3月まで時間がほしい

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・3月に送るので、それを使ってみる・回収する時に、紙を集める・データで集める |
|--|

(2) 代表 (1名)

- ・事務所との連絡調整を行う。全体の取りまとめ。
- ・いつ交代するか? ⇒ 今回。任期は代表次第。総解散あり。

(3) 副代表 (2名)

- ・現地業務費申請書を書く
- ・2名で仕事を振り分ける

(4) 記録 (2名)

- ・現地業務費は副代表の仕事にする。
- ・2名体制

(5) 会計 (1名)

- ・出張命令書兼旅費請求書を取りまとめ、経費の概算を行う。
- ・2枚目もちゃんと記入して!
- ・提出前に元になるデータを事前に送付する。

(6) 在籍管理 (1名)

- ・新隊員さんへの教育研究会への説明を行う。
- ・リストへの登録
- ・旧隊員の削除

(7) ホームページ (1~2名)

- ・個人情報の取り扱いに注意
- ・写真と著作権に注意
- ・今後の業務は管理のみになる→仕事は少なくなる
- ・人数2名
- ・会議や活動の記録をどう周知するか
 - ①記録がメーリングリストで周知する
 - ②記録をHP係がアップするのか記録係がアップするのか ⇒記録がアップし、HP係が確認
- ・『財産をためていく場』という意識で活用
- ・責任の所在は？消すのはだれ？ ⇒ HP係に管理責任がある。不適切な内容の掲載を発見した場合は掲載者に修正を求めるか、または確認を取ってから消す
- ・アップするときに、ラオス語または英語で内容を軽く書いておくと、活動先ですぐにラオス人教師に紹介することができるのでよりよい
- ・算数・数学科教育研究会の活動紹介の一手段として、JICA ラオス事務所や専門家、その他関連団体等にブログの紹介をする

(8) 名誉会長

- ・継続

<任期と交代>

役割	担当者	活動内容
代表(1)	くどう	カニクンの活動全体を掌握し、分科会などの企画、運営にあたる。事務所との連絡調整を行う。
副代表(2)	やじま のぎ	代表とともにカニクンの活動を進める。 会員への連絡。現地業務費申請書を作成する
記録 (2)	もみやま まつい	分科会、企画での記録 HPに記録をアップする
会計(1)	たかはしゆ	カニクンに関わる費用の管理を行う。(旅費請求書の取りまとめ、経費概算を含む)
在籍管理(1)	はやせ	メーリングリストの管理(登録・削除)を行う。 新隊員への連絡、研究会の説明を行う。
ホームページ (2)	はやせ あらい	隊員の活動や教材などの情報共有を目的としたホームページの管理を行う。 『使用手引』を利用して、新会員にHPの紹介と利用方法の説明をする。

ラオス語辞書	いわた まつい おがわ	教育および算数・数学に関するラオス語の辞書・資料の作成を推進する。
(名誉会長)	ぼう	JOCV への冷静なアドバイスを行う

